

英語版
ENGLISH

あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』



かくきょうか がくしゅうないようへん こくご
各教科の学習内容編 <国語>
じほんやくつき
《ローマ字と翻訳付》

“AYA & MUSASHI WORKBOOK”

School Subjects Edition <Japanese Language>

《Romanized and translated》

埼玉県教育委員会



あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』

もくじ
目次

だい せつ かくきょうか がくしゅうないようへん
第3節 各教科の学習内容編

こくご
〈国語〉

1. 「は」「を」「へ」をつかってかこう…………… 1
2. しゅごとじゅつご（主語と述語）…………… 3
3. くわしくすることば…………… 4
4. まる・てん・かぎ…………… 5
5. ローマじ表…………… 6
6. ローマじのきまり…………… 7
7. ぶんとぶんのつながり…………… 8
8. はんたいのいみのことば…………… 9
9. かんじのなりたち…………… 10
10. かんじのかきじゅん…………… 11
11. やさしいかんじ…………… 12
12. おぼえておきたいことば…………… 16
13. 言語の単位…………… 19
14. 文の成分…………… 19
15. 単語のいろいろ…………… 19
16. 活用のない自立語…………… 20
17. 学習用語…………… 20

第3節 各教科の学習内容編

Unit 3 School Subjects Edition

〈国語〉 Kokugo (Japanese language)

1 「は」「を」「へ」をつかってかこう (Let's try using "wa", "wo" and "e.")

(1) わたし は みる。

Watashi wa miru.

(I watch.)

テレビ を みる。

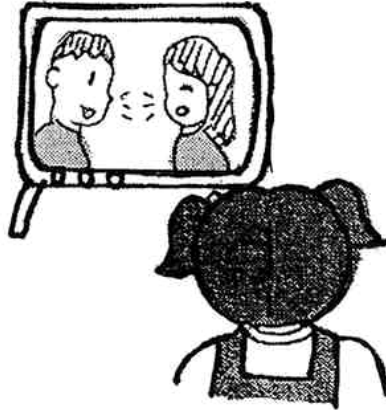
Terebi wo miru.

(I watch television.)

わたし は テレビ を みる。

Watashi wa terebi wo miru.

(I watch television.)



(2) ぼく は いく。

Boku wa iku.

(I go.)

うみ へ いく。

Umi e iku.

(I go to the beach.)

ぼく は うみ へ いく。

Boku wa umi e iku.

(I will go to the beach.)



「は」「を」「へ」をつかってぶんをつくりましょう。

(Let's make sentences using "wa", "wo" and "e.")

は を 。

は へ 。

(3) 「わ」と「は」

“Wa” to “wa”

(There are two characters for the sound “wa”: わ and は)

わに は かわ に います。

Wani wa kawa ni imasu.

(The crocodile is in the river.)

わたし は なわとび が すきです。

Watashi wa nawatobi ga suki desu,

(I like playing jump rope.)

(4) 「お」と「を」

“O” to “wo”

(There are two characters for the sound “o”: お and を)

かお を あらいます。

Kao wo araimasu.

(I wash my face.)

おにごっこ を します。

Onigokko wo shimasu.

(I play tag.)

おむすび を たべます。

Omusubi wo tabemasu.

(I eat rice balls.)

(5) 「え」と「へ」

“E” to “e”

(There are two characters for the sound “e”: え and へ)

えき へ おとうさん を むかえ に いきます。

Eki e otôsan wo mukae ni ikimasu.

(I will go to the station to meet my father.)

へや の なか へ はいろう。

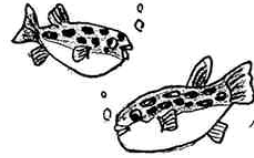
Heya no naka e hairô.

(Let's go inside the room.)

2 しゅごとじゅつご (主語と述語) (Subjects & Predicates)

しゅご shugo (subject) じゅつご jutsugo (predicate)

(1) さかな が およぐ。
Sakana ga oyogu.
(The fish swims.)



(2) ボール は まるい。
Bôru wa marui.
(Balls are round.)



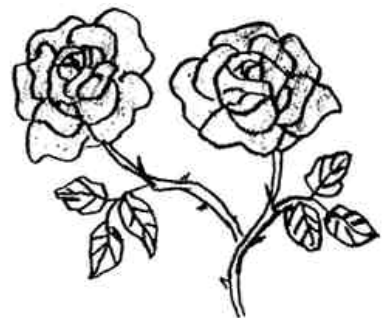
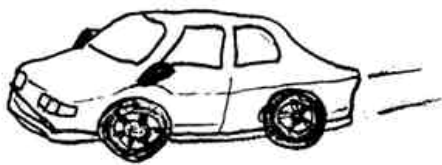
(3) あかちゃん が、 なく。
Akachan ga, naku.
(The baby cries.)



(4) ぼく は しょうがくせいだ。
Boku wa shôgakusei da.
(I am an elementary school student)



え を み て ぶ ん を つ くり ま し ょ う。
(Look at the pictures and make sentences.)



- ★・主語は<なにが、なには、だれが、だれは>にあたり、述語は<どうした、どうだ、どんなだ>にあたることばです。
- ・主語と述語がそろった文にすると、言いたいことがきちんと伝わります。
 - ・絵を見て文を作ったり、主語カードと述語カードの合わせゲームをしたりすると、意欲的に取り組めるでしょう。

3 くわしくすることは (Words for giving details)

わたしは、たべました。
Watashi wa, tabemashita.
(I ate.)

わたしは、おべんとうを たべました。
Watashi wa, obentô wo tabemashita.
(I ate a bento.)



わたしは、おかあさんが つくった おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta obentô wo tabemashita.
(I ate the bento that my mother made.)

わたしは、おかあさんが つくった おいしい おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tabemashita.
(I ate the delicious bento that my mother made.)

わたしは、えんそくで おかあさんが つくった おいしい おべんとうを ともだちと
いっしょに たべました。
Watashi wa, ensoku de okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tomodachi to isshoni
tabemashita.
(I ate the delicious bento that my mother made with my friends on a field trip.)

- ★・上の文では、みな同じ主語と述語が使われています。詳しくする言語をつけ足すことで、順によりわかりやすい文になります。「だれに」「なにを」「いつ」「どこで」「どんな」「どのように」にあたる文の意味を詳しくする言葉を修飾語といいます。
- ・主語、述語だけの文に、修飾語を足して、文をくわしくする練習をすると語彙が広がります。

4 まる・てん・かぎ (Japanese period, comma, and brackets)

(1) まる(。)は、ぶんの おわりを あらわす。

(The Japanese period “.” shows the end of the sentence.)

(2) てん(、)は、ぶんの いみの きれめを あらわす。

(The Japanese comma “、” shows a separation in meaning.)

(3) かぎ(「 」)は、かいわを あらわす。

(Japanese brackets “「 」” show dialogue.)

わたしは、しゅくだいを してから、ピアノの れんしゅうを しました。

Watashi wa, shukudai wo shite kara, piano no renshû wo shimashita.

(I practiced the piano after doing my homework.)

「がんばったね。とても じょうずに なったよ。」

“Ganbatta ne. Totemo jôzu ni natta yo.”

(“You did really well. You’ve gotten very good.”)

と、おかあさんが いいました。

To, okâsan ga iimashita.

(my mother said.)



★・「 」は会話のほかに、書名、引用、心の中で思ったことなどを表す時にも使います。

・中点(・)は言葉をならべる時、ダッシュ(—)は説明を補う時や、文末を途中で止める時などに使います。

ひょう
5 ローマじ表
(Romanization Table)

大文字	A	I	U	E	O			
	あ a	い i	う u	え e	お o			
K	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きよ kyo
S	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しよ syo [sho]
T	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちよ tyo [cho]
N	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	によ nyo
H	は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひよ hyo
M	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みよ myo
Y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
R	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りよ ryo
W	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) <wo>			
	ん n							
G	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎよ gyo
Z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じよ zyo [jo]
D	だ da	ぢ (zi) [di] [ji]	づ zu [du]	で de	ど do	ぢゃ zya [ja]	ぢゅ zyu [ju]	ぢよ zyo [jo]
B	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びよ byo
P	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴよ pyo

★ローマ字を知っていると、コンピュータやワードプロセッサを使う時、便利です。ただし、「ぢ」は「DI」、「づ」は「DU」、「を」は「WO」、「ん」は「NN」と打ちます。

6 ローマジのきまり (Rules for romanization)

(1) 3もじで あらわす おん (Sounds with three letters)

<u>t</u> oshokan <u>t</u> os <u>y</u> okan	としよかん	(library)
o <u>t</u> ya o <u>ch</u> a	おちゃ	(tea)

(2) のばす おん (Long sounds)

o <u>t</u> ôsan	おとうさん	(father)
o <u>n</u> isan	おにいさん	(older brother)

(3) つまる おん (Doubled sounds)

sh <u>i</u> ppo s <u>i</u> ppo	しっぽ	(tail)
ki <u>t</u> te	きって	(stamp)

(4) はねる おん(ん)と つなぎの おんを きりはなす (Separate nasal sounds ("n") and the next sound)

ton' <u>y</u> a	とんや	(dealer)
sen' <u>j</u> i	せんい	(fiber)

(5) おおもじ(A) こもじ(a) (Capital (A) and lowercase (a))

<u>H</u> okkaidô	ほっかいどう	(Hokkaido)
<u>S</u> akai <u>Y</u> uri	さかいゆり	(Yuri Sakai)

(6) ふたつの かきかた (Two spellings)

mi <u>t</u> i mi <u>ch</u> i	みち	(road)
------------------------------	----	--------

- ★ ・ローマ字は日本語の発音を表すために使われます。
- ・ローマ字で書かれたものを集めると、ローマ字に関心を持ちます。
- ・地名など、全部大文字で書くこともあります。TÔKYÔ
- ・名前などの言葉をつなぐ印として「—」を付けることもあります。Sakai—Yuri

7 ぶんとぶんのつながり (Connecting sentences)

せつぞくご (ぶんと ぶんを つなぐ)

(**Conjunctions**): Connect sentences.)

ねつが だ。 **だから**、がっこうを やすんだ。

Netsu ga deta. **Dakara**, gakkô wo yasunda.

(I had a fever. **So**, I didn't go to school.)

いもうとが、かいだんから おちた。 **しかし**、けがは しなかった。

Imôto ga, kaidan kara ochita. **Shikashi**, kega wa shinakatta.

(My sister fell down the stairs, **but** she wasn't hurt.)

うみに いきますか。 **それとも**、やまに いきますか。

Umi ni ikimasu ka. **Soretomo**, yama ni ikimasu ka.

(Will you go to the beach **or** to the mountains?)

しじご (まえに でてきた ことや ぶんを さす)

(**Demonstratives**): Indicate a sentence or something else that came up earlier.)

うみで いしを ひろった。 **その** いしは、しろくて まるい。

Umi de ishi wo hirotta. **Sono** ishi wa, shirokute marui.

(I picked up a stone at the beach. **That** stone was white and round.)

きのう、どうぶつえんに いった。 **これは**、そのときの しゃしんだ。

Kinô, doubutsuen ni itta. **Kore wa**, sono toki no shashin da.

(Yesterday, I went to the zoo. **This** is a photo I took there.)

★・順接、逆接の接続語以外にも、様々な接続語があるので、いっしょにみつけましょう。

(それから、それで、ところが、でも、など)

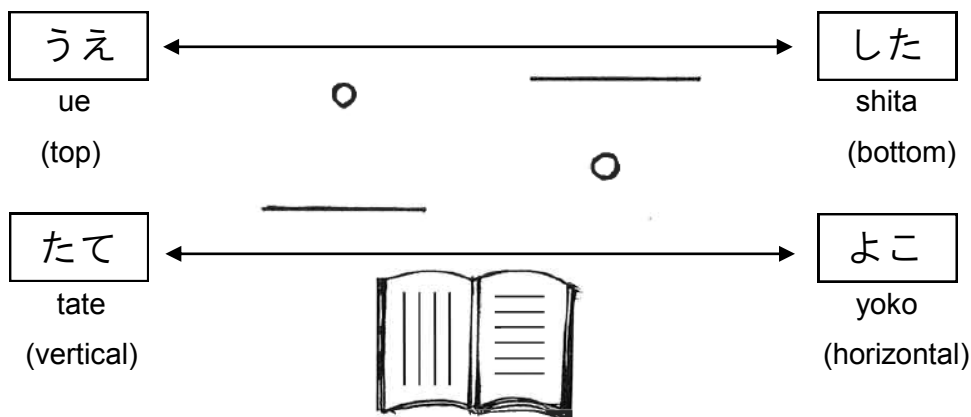
- ・「こそあど言葉」は指示語であり、それを使うことにより、同じ言葉の繰り返しを避けることができます。

8 はんたいのいみのことば
(Opposite words)

(1) ほうこうやかんけい

Houkou ya kankei

(Directions and relations)



(2) ひとやものごとのうごき

Hito ya monogoto no ugoki

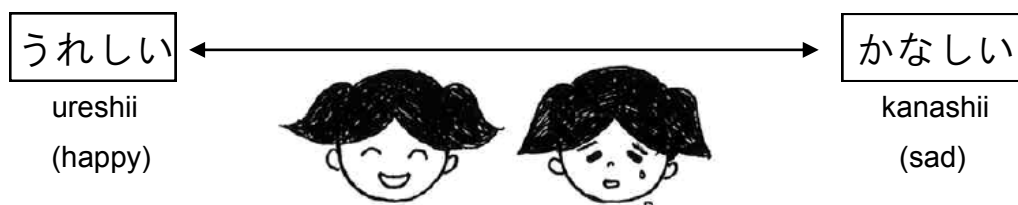
(The ways people and things move)



(3) ようすやせいしつ

Yōsu ya seishitsu

(States and traits)



★・色々なことばの反対語を集めて、語彙を増やすとよいです。動作を取り入れると、効果的です。
・会話のページの様子を表す言葉も関連して指導できます。

9 かんじのなりたち (The origin of kanji)

かんじは いまから 3000ねん いじょうも まえに ちゅうごくで できました。
はじめは かんたんな えもじで あらわしていましたが だんだん へんかして いまの ような
かたちに なりました。

(Kanji were created over 3000 years ago in China. They were simple pictures at first, but they gradually changed and took on their current form.)

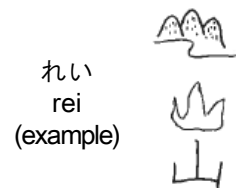
て あしを ひろげて、おおきい
Te ashi wo hirogete, ôkii
(Spreading your arms and legs: big)



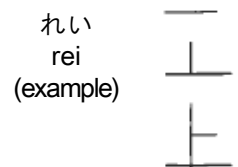
大_{おお} | ・ ・ よみがな yomigana
き | ・ ・ おくりがな okurigana

よみかた	
大	
(訓)	(音)
お	ダイ
お	イ
大男	大臣

(1) ものの かたちや ようすを えがいた えもじを かんたんに したものの。
(Kanji that were based on the simplified shapes and forms of things.)



(2) えに しにくい ことを するしなどで あらわした もの。
(Kanji that used symbols to explain concepts difficult to explain with pictures.)



(3) かんじの いみを くみあわせて できた もの。
(Kanji that were made by combining the meaning of other kanji.)

れい 休 (rest)→人 (person)+木 (tree)
rei 人が木の下で休む (A person rests underneath a tree.)
(example) 鳴 (an animal's cry)→口 (mouth)+鳥 (bird)
鳥が鳴く様子 (A bird singing)

(4) おんを あらわす ぶぶんと いみを あらわす ぶぶんを あわせて できたもの。
(Kanji that combined a part showing pronunciation and a part showing the meaning.)

れい 清 (pure)
rei 氵 (さんずい) は水の意味 (氵 [sanzui] means water.)
(example) 青はセイと読み、音を表す (青 is read as "sei", and shows the pronunciation.)

10 かんじのかきじゅん (Kanji stroke-order)

かんじのかきじゅんには つぎの ような きまりが あります。
(There are the following rules for kanji stroke-order:)

- (1) うえから したへ
(From top to bottom)

さん
三 → 一 = 二 三

- (2) ひだりから みぎへ
(From left to right)

かわ
川 → 丩 川 川

- (3) よこせんから たてせんへ
(From horizontal lines to vertical lines)

とお
十 → 一 十

- (4) まんなかから さゆう (左右) へ
(From the center to the left and right)

しょう
小 → 丩 小 小

- (5) そとがわから うちがわへ
(From outside to inside)

どう
同 → 丨 冂 冂 同 同 同

- (6) たてにつきぬけるせんは さいご
(A piercing vertical line comes last)

なか
中 → 丨 冂 口 中

★・漢字を書くときは、上のような原則があることを知らせ、書き順に気をつけながら書くように指導します。
・発展として、漢和辞典（漢字辞典）の使い方についても触れ、漢字辞典を使いながら漢字の組み立て【かんむり】【あし】【にょう】【たれ】【かまえ】についても指導できるとより理解が深まります。

11 やさしいかんじ (Easy Kanji)

ひと hito person

人	ひと	hito	person
男	おとこ	otoko	man
女	おんな	onna	woman
子	こ	ko	child
父	ちち	chichi	father
母	はは	haha	mother
兄	あに	ani	older brother
弟	おとうと	otôto	younger brother
姉	あね	ane	older sister
妹	いもうと	imôto	younger sister
自分	じぶん	jibun	myself
親	おや	oya	parent
友だち	ともだち	tomodachi	friend
外国人	がいこくじん	gaikokujin	foreigner
日本人	にほんじん	nihonjin	Japanese person

しぜん shizen nature

日	ひ	hi	sun
月	つき	tsuki	moon
山	やま	yama	mountain
川	かわ	kawa	river
空	そら	sora	sky
雲	くも	kumo	cloud

水	みず	mizu	water
海	うみ	umi	beach (sea)
天気	てんき	tenki	weather (climate)
雨	あめ	ame	rain
風	かぜ	kaze	wind
木	き	ki	tree
林	はやし	hayashi	woods
森	もり	mori	forest
草	くさ	kusa	grass
花	はな	hana	flower
田	た	ta	rice paddy
土	つち	tsuchi	soil (ground)
火	ひ	hi	fire
石	いし	ishi	stone
星	ほし	hoshi	star

いち・ほうこう

ichi・hōkō

position・direction

上	うえ	ue	top
下	した	shita	bottom
中	なか	naka	inside
外	そと	soto	outside
右	みぎ	migi	right
左	ひだり	hidari	left
前	まえ	mae	front
後ろ	うしろ	ushiro	behind

東	ひがし	higashi	east
西	にし	nishi	west
南	みなみ	minami	south
北	きた	kita	north

うごき ugoki actions

休む	やすむ	yasumu	rest
見る	みる	miru	see (watch)
出る	でる	deru	exit
入る	はいる	hairu	enter
立つ	たつ	tatsu	stand
引く	ひく	hiku	pull
歌う	うたう	utau	sing
帰る	かえる	kaeru	return
言う	いう	iu	say
考える	かんがえる	kangaeru	think
行く	いく	iku	go
作る	つくる	tsukuru	make
止まる	とまる	tomaru	stop
思う	おもう	omou	think
書く	かく	kaku	write
食べる	たべる	taberu	eat
切る	きる	kiru	cut
走る	はしる	hashiru	run
歩く	あるく	aruku	walk

来る	くる	kuru	come
話す	はなす	hanasu	talk (speak)
読む	よむ	yomu	read
答える	こたえる	kotaeru	reply
買う	かう	kau	buy
遊ぶ	あそぶ	asobu	play
起きる	おきる	okiru	wake/get up

ようす yôsu states

大きい	おおきい	ôkii	big
小さい	ちいさい	chiisai	small
早い	はやい	hayai	early
強い	つよい	tsuyoi	strong
新しい	あたらしい	atarashii	new
明るい	あかるい	akarui	bright
多い	おおい	ôi	many
少ない	すくない	sukunai	few
近い	ちかい	chikai	close
太い	ふとい	futoi	fat, thick
楽しい	たのしい	tanoshii	fun
高い	たかい	takai	high, expensive
広い	ひろい	hiroi	wide
長い	ながい	nagai	long
正しい	ただしい	tadashii	correct

12 おぼえておきたいことば (Words to remember)

あらすじ arasuji

ものがたりなどの だいたいの ないようのこと。

(The general content of a story, etc.)

おんどく (音読) ondoku

こえに だして よむこと。

(Reading aloud)

かいわ (会話) kaiwa

じんぶつが はなしたこと。 ※かくときは「 」をつける。

(Dialogue: What characters say. *Use 「 」 to show this when writing.)

だんらく (段落) danraku

ぶんしょうの なかでの ないようの まとまり。

(Paragraph: A smaller section within a larger piece of writing.)

とうじょうじんぶつ (登場人物) tōjōjinbutsu

ものがたりに でてくる にんげんや どうぶつ。

(Characters: The people or animals that appear in a story.)

ぶん (文) bun

まとまった いみをもつ ひとまとまりの ことば。 ※おわりに (。)をつける。

(Sentence: A set of words carrying meaning. *Add (。) at the end of each sentence.)

ぶんしょう (文章) bunshō

かきての かんがえで まとめられた いみをもつ ぶんの あつまり。

(Text/writing: A collection of sentences arranged according to the writer's thoughts.)

ばめん (場面) bamen

ものがたりで あることが おこなわれている ひとまとまりの ぶぶん。

(Scene: The part of a story where something is carried out.)

ぎだい (議題) gidai

かいぎのばで とりあげて はなしあう ことがら わだい。

(Subject: The topic to be discussed at a meeting.)

きょうつうご (共通語) kyōtsūgo

ぜんこく どのちほうの ひとにも つうじることば。

(Common language: The language that is understood by all, all over the country.)

こうせい（構成） kôsei

ぶんや だんらくが どういう かんけいで むすびつき ぶんしょう ぜんたいを つくって
いるかと いうこと。

(Structure: The ways in which sentences and paragraphs are connected and make up the text on the whole.)

しじご（指示語） shijigo

ものごとの ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす ことば。

(Demonstrative: A word that expresses something's location, direction or state.)

ぶんご（文語） bungo

かきことばの なかに のこっている ことば。

(Written language: Words that are used only in writing.)

ほうげん（方言） hôgen

そのちほう どくとくの ことば。

(Dialect: The special speech used in a certain region.)

ようし（要旨） yôshi

その ぶんしょうぜんたいで ひっしやが のべようと する おもな ないよう。

(Main point: The main idea that a writer is trying to express in a text.)

こそあどことば kosoado kotoba

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などのように はじめに「こ・そ・あ・ど」がついている
ことば。ものごとや ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす。

(“Ko”, “so”, “a”, “do” words: Words like “kore,” “sore,” “are,” and “dore” that start with “ko,” “so,” “a,” or “do.” They are used to express things, locations, directions and states.)

こみだし（小見出し） komidashi

ひとつの ぶんしょうを いくつかに わけて それぞれに つける だい。

(Subheading: A header that separates the different parts of a text.)

さくいん（索引） sakuin

ほんの おわりにあり とりあげてある ことがらが どの ページに あるかを せいりしたもの。

(Index: A list in the back of a book that shows what page everything mentioned in the book is on.)

じゅくご（熟語） jukugo

ふたつじょうの かんじが くみあわさって できた ことば。

(Compound word: Words made up by combining two or more kanji.)

もくじ（目次） mokuji

ほんの はじめにあり ないようの みだしが ページじゅんに ならべてあるもの。

(Table of contents: A list at the start of a book that shows all the sections of the book in page order.)

ようす（様子） yôsu

じんぶつの したことや いったこと みなり かおつき まわりの できごとなど。

(State: Things characters did, said, their appearances, their faces, and what happens around them, etc.)

かんご（漢語） kango

かんじを 「おん」で よんだ ことば。（例 上下・・・ジョウゲ）

(Chinese-origin words: Words read with the Chinese, or “on” reading of the kanji. Example: 上下 jôge = up and down.)

わご（和語） wago

もともと にほんに あった ことば。（例 上下・・・うえした）

(Japanese-origin words: Words that were originally in Japan. Example: 上下 ueshita = up and down.)

けいご（敬語） keigo

ききてや わだいに なっている ひとに けいいをあらわす ひょうげん。ていねいご そんな けいご けんじょうごに わかれる。

(Honorific language: Expressions that show respect for the listener or the person being discussed. Keigo is further divided into *teineigo* <polite language>, *sonkeigo* <respect language> and *kenjôgo* <humble language>.)

しんじょう（心情） shinjô

とうじょうじんぶつが かんじたり おもったり かんがえたり したこと。

(Feelings: What characters think and feel)

とうろん（討論） tōron

ある もんだいについて いけんを だしあい ぎろんを たたかわせること。

(Debate: Arguing one’s opinion on a certain problem.)

たんか（短歌） tanka

五・七・五・七・七の 三十一おんから なる にほんとかゆうの みじかいし。

(Tanka: A short Japanese poem composed of 5, 7, 5, 7 and then 7 syllables.)

はいく（俳句） haiku

五・七・五の 十七おんからなり きせつを あらわす 「きご」を いれた にほんとかゆうの みじかいし。

(Haiku: A short Japanese poem composed of 17 syllables (5, 7, and 5) that includes a “kigo” or a word showing the season.)

げんご たんい
13 言語の単位
 (Linguistic units)

句点	くてん	kuten	period
形式段落	けいしきだんらく	keishiki danraku	paragraph
疑問符	ぎもんふ	gimonfu	question mark
感嘆符	かんとんふ	kantanfu	exclamation mark
文節	ぶんせつ	bunsetsu	phrase
↳ (文の中の一區切り)	(a single section in a sentence)		
単語	たんご	tango	vocabulary, term

ぶん せいぶん
14 文の成分
 (Parts of a sentence)

主語	しゅご	shugo	subject
述語	じゅつご	jutsugo	predicate
修飾語	しゅうしょくご	shûshokugo	modifier
体言	たいげん	taigen	substantives (nouns, pronouns)
↳ (主語になれるものの名前)	(the name for words that can become subjects)		
用言	ようげん	yôgen	declinable word
↳ (動作や様子を表すことば)	(words that express actions or states)		
接続語	せつぞくご	setsuzokugo	conjunctions
↳ (語句や文をつなぐことば)	(words that connect clauses or sentences)		
独立語	どくりつご	dokuritsugo	independent word
↳ (一つだけで働くことば)	(words that work all on their own)		

たんご
15 単語のいろいろ
 (Different kinds of vocabulary)

活用	かつよう	katsuyô	conjugation
自立語	じりつご	jiritsugo	independent word
↳ (一つで文節をつくることば)	(a word that makes a whole sentence)		
付属語	ふぞくご	fuzokugo	dependent word
↳ (自立語の後につくことば)	(a word that goes after an independent word)		
名詞	めいし	meishi	noun
副詞	ふくし	fukushi	adverb
接続詞	せつぞくし	setsuzokushi	conjunction
感動詞	かんどうし	kandôshi	interjection
動詞	どうし	dôshi	verb
形容詞	けいようし	keiyôshi	adjective

形容動詞	けいようどうし	keiyôdôshi	adjectival-verb
助詞	じょし	joshi	particle
助動詞	じょどうし	jodôshi	auxillary verb
品詞	ひんし	hinshi	part of speech
季語	きご	kigo	word expressing the season
↳ (俳句などで季節をあらわすことば) (a word that expresses the season in haiku, etc.)			

対義語	たいぎご	taigigo	antonym
類義語	るいぎご	ruigigo	synonym
多義語	たぎご	tagigo	word with multiple meanings
語幹	ごかん	gokan	word stem
自動詞	じどうし	jidôshi	intransitive verb
他動詞	たどうし	tadôshi	transitive verb
接頭語	せつとうご	settôgo	prefix
接尾語	せつびご	setsubigo	suffix

16 ^{かつよう} ^{じりっご} 活用のない自立語
(Independent words that do not conjugate)

普通名詞	ふつうめいし	futsû meishi	common noun
固有名詞	こゆうめいし	koyû meishi	proper noun
代名詞	だいめいし	daimeishi	pronoun
数詞	すうし	sûshi	numeral
形式名詞	けいしきめいし	keishiki meishi	formal noun
順接	じゅんせつ	junsetsu	copulative conjunction
逆接	ぎゃくせつ	gyakusetsu	adversative conjunction
転換	てんかん	tenkan	conversion
要約	ようやく	yôyaku	summary
補足	ほそく	hosoku	complement
感動	かんだう	kandô	emotion
応答	おうとう	ôtô	response
呼びかけ	よびかけ	yobikake	calling

17 ^{がくしゅうようご} 学習用語
(Educational terms)

朗読	ろうどく	rôdoku	reading aloud
論理	ろんり	ronri	logic
感想	かんそう	kansô	impression

筆者	ひっしや	hissha	} author
作者	さくしや	sakusha	
著者	ちよしや	chosha	
古文	こぶん	kobun	classic literature
↳	(江戸時代までの日本語の文) (Japanese literature until the Edo era)		
漢文	かんぶん	kanbun	classic literature written only in kanji
↳	(中国から伝わった漢字だけの文) (literature composed only of kanji from China)		
起承転結	きしょうてんけつ	kishôtenketsu	Japanese logical structure (introduction, development, turn and conclusion)
↳	(文章や物語のはじめ・経過・展開・終わり) (The start, development, turn and end of a story/text)		
歴史的仮名遣い	れきしてきかなづかい	rekishiteki kanazukai	historical kana usage
↳	(古文による仮名の使い方) (the ways kana was used in kobun texts)		
音便	おんびん	onbin	euphony
比喩	ひゆ	hiyu	metaphor
慣用句	かんようく	kan'yôku	idiom
推敲	すいこう	suikô	revision
紀行文	きこうぶん	kikôbun	travel account
論説文	ろんせつぶん	ronsetsubun	editorial
解説文	かいせつぶん	kaisetsubun	explanation
風刺	ふうし	fûshi	satire
描写	びょうしゃ	byôsha	description
引用	いんよう	in'yô	citation
ディスカッション		disukasshon	discussion
ディベート		dibêto	debate
イントネーション		intonêshon	intonation
コミュニケーション		komyunikêshon	communication

【平成14年度発行】

1 作成協力委員(所属及び職名は平成14年度による)

委員長	山下 武彦	(本庄市立中央小学校 校長)
副委員長	長谷川 浩	(さいたま市立常盤中学校 教頭)
委員	石橋 裕	(戸田市立戸田中学校 教諭)
委員	加藤 明美	(川口市立戸塚中学校 教諭)
委員	中島 敏也	(飯能市立飯能第一小学校 教諭)
委員	松崎 仁子	(東松山市立松山第一小学校 教諭)
委員	中井 健一	(小鹿野町立小鹿野小学校 教諭)
委員	下山美代子	(本庄市立本庄西小学校 教諭)
委員	清水 孝彦	(深谷市立上柴西小学校 教諭)
委員	小宮 豊隆	(行田市立長野中学校 教諭)
委員	新井てる子	(岩槻市立東岩槻小学校 教諭)
委員	石田 耕一	(埼玉大学教育学部附属中学校 教諭)
委員	阿久津一浩	(さいたま市教育委員会 主任指導主事)
委員	豊田 尚正	(北部教育事務所 主任指導主事)
委員	本木 正和	(県立蕨高等学校 教諭)
委員	須田 康子	(県立戸田高等学校 教諭)
委員	松尾 恭子	(社団法人国際日本語普及協会 日本語教師)
委員	小玉 安恵	(国際交流基金日本語国際センター 専任講師)

2 翻訳協力者等(職名は平成14年度による)

<中国語>	白 香・瀬尾 圓・高木延峰・李 莉
<ポルトガル語>	セルジオ 馬場 (指導課国際交流員)
<スペイン語>	リリアナ 中村 (指導課国際交流員)
<英語>	ジュリー ナン (指導課国際交流員)

笠間 進 (指導課支援アドバイザー)

3 資料提供等(教科書の図版) ※敬称略

(1)<日常生活・国語>

- 国際交流基金日本語国際センター「日本語かな入門」
- さいたま市教育委員会 指導教材「はじめくとまりちゃんのにほんごきょうしつ」

(2)<社会>

- 沖縄県平良市教育委員会 副読本「ひらら」
- 岩槻市教育委員会 社会科副読本「いわつき」小3・4年
- 東京書籍(株) 教科書「新しい社会」小3・4年、他21件
- (株)中央社 副読本「わたしたちの郷土 さいたま」埼玉県全県地図
- (株)文溪堂 社会資料集 6年「調べ 考え 好きになる」
- 青葉出版(株)東京支社 社会科作業帳 6年「日本の歴史と政治・世界」他1件
- 明治図書(株) 「最近歴史資料集」他1件
- 須貝 稔 東京書籍「新しい社会歴史」
- 江口準次 東京書籍「新しい社会6上」他1件

(3)<算数・数学>

- 岡部タカノブ 東京書籍(株)「新しい算数」小3上、他1件
- 佐藤道子 東京書籍(株)「新しい算数」小4下
- (株)新興出版社啓林館 教科書「さんすう」小1、他4件
- 東京書籍(株) 教科書「新しい算数」小3上、他5件

(4)<理科>

- 小山信吾 大日本図書(株)「中学校理科」中2上
- 東京書籍(株) 教科書「新しい理科」小3、46件
- 教育出版(株) 教科書「中学理科」中1上、他3件
- 大日本図書(株) 教科書「中学校理科」中2上

【平成18年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成18年度による)

<中国語>	李 寧 蕓
<ポルトガル語>	アレックスandro タタジバ (義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	ロベルト 津留 (高校教育指導課国際交流員)
<英語>	シェーン パトゥ (高校教育指導課国際交流員)

小岩井優里子 (義務教育指導課支援アドバイザー)

【平成31年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成30年度による)

<中国語>	徳間 菲	(国際課)
<ポルトガル語>	メロ ワヂソン	(義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	スミヒロ マリエン	(高校教育指導課国際交流員)
<英語>	クリス クレイゴ	(高校教育指導課国際交流員)

- ・義務教育指導課 教科担当指導主事
- ・北村裕美 (義務教育指導課支援アドバイザー)

